

1年	④ 文字式と数量 (2)
	() 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。

(1) 下のア～エの中に、 $\frac{x + y}{2}$ という式で表されるものがある。

それはどれか、1つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 底辺が x cm、高さが y cmの三角形の面積 (cm^2)

イ 片道2kmの道のりを、行きは時速 x km、帰りは時速 y kmで歩いたとき、往復にかかった時間 (時間)

ウ あるテストで、国語の得点が x 点、数学の得点が y 点であった生徒の、この2教科の平均点 (点)

エ x 円の鉛筆と y 円の消しゴムを、それぞれ2個ずつ買ったときの合計の金額 (円)

(2) これまでのテスト5回分の得点の平均は a 点である。今回のテストの得点が90点であるとき、次の式は何を表していますか。

$$\frac{5a + 90}{6} \text{ (点)}$$

(3) 1個 x 円のテニスボールを5個買うと、代金は800円より高くなる。このとき、数量の関係を不等式で表しなさい。

1年	④ 文字式と数量 (2)
	() 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。

(1) 下のア～エの中に、 $\frac{x+y}{2}$ という式で表されるものがある。

それはどれか、1つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 底辺が x cm、高さが y cmの三角形の面積 (cm²) $\frac{1}{2}xy$ (cm²)

イ 片道2kmの道のりを、行きは時速 x km、帰りは時速 y km
で歩いたとき、往復にかかった時間 (時間) $\frac{2}{x} + \frac{2}{y}$ (時間)

ウ あるテストで、国語の得点が x 点、数学の得点が y 点で
あった生徒の、この2教科の平均点 (点) $\frac{x+y}{2}$ (点)

エ x 円の鉛筆と y 円の消しゴムを、それぞれ2個ずつ買った
ときの合計の金額 (円)
 $2(x+y)$ または $2x+2y$ (円)

(2) これまでのテスト5回分の得点の平均は a 点である。今回のテストの
得点が90点であるとき、次の式は何を表していますか。

$$\frac{5a+90}{6} \text{ (点)}$$

$5a$ は、テスト5回分の合計得点を表し、今回の得点
90点をたしているので、6回分の得点合計となる。
そして、6で割っているため、平均点となる。

テスト6回分の得点の平均

(3) 1個 x 円のテニスボールを5個買うと、代金は800円より高くなる。
このとき、数量の関係を不等式で表しなさい。

テニスボールを5個買うと、 $5x$ (円) で、
その代金が800円より高いから、
 $5x > 800$

$5x > 800$